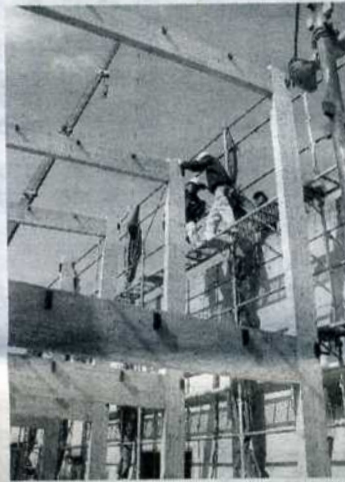


高靱性のフレーム開発

100%国産材のラーメン工法で実験室



京大生存圏研究所で建設中の建物

京大生存圏研、グラウンドワークスと共同で

京都大学生存圏研究所は、生物機能材料分野(矢野浩之教授の実験室及び研究室を木造で建設することになり、同研究所の小松幸平教授(生活圏構造機能分野)の研究してきたラグスクリエポルト(LSB)とグラウンドワークス(富山県、大倉憲隆社長)の開発してきた門型フレーム、HSS金物を組み合わせた新たなラーメンフレームを採用。構造材、羽柄材、合板など100%国産材を使用したラーメン工法として新たな可能性を示した。

今回のラーメンフレームは、LSBを柱背から挿入し、あらかじめ梁側に埋め込んだネジ部で受けるもので、柱側にはネジを切り取って受け付ける形で、施工は基礎部分を除けば一般の金物工法並みに改善。「住宅の販売価格でも坪当たり50万円程度で可能とするようコストダウンにも取り組んだ」と設計・施工を担当したジェイ・クラフト(京都市)。

水平構面には池見林産の杉モルター材(30×450×4000)に900ピッチで南宗和氏(京都大学大学院農学研究科森林科学専攻博士課程)が開発した、日型金物を打ち込むことで床倍率2.5倍の性能を確保できるものを2階床、小屋に採用。

構造材はカラ松構造用集成材(けせんプレカット事業)、合板はセイホクの杉赤身材で作ったもの、羽柄材は地元京都の杉を採用するなど、木材は100%国産材を使用。プレカットは志田材木店が担当。「フレームの変形は15分の1くらいまで可能な粘り強さが

あり、施工性にもすぐれている」と南氏。建物は2階建て48坪の規模で確認は在来で取り、フレームは余力としている。矢野教授はバイオナノファイバーから作る透明ナノ材料や鋼鉄のように強いセルロース材料の開発で有名な教授で、この建物も通称ナノハウスとされている。

業界初!
抗酸化集成材
遠赤外線効果によりマイナスイオンを発生
TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市湊浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

1月出荷1.4%減
需要見直しについて須藤会長は「先の需要は読みにくいだが、住宅着工は100万戸プラスマイナス5万戸規模と考えており、ボード需要は20年比で5%前後の減少を覚悟している。しかしこれも努力目標としてであり、実需はもっと悪くなる可能性がある」と考えている。

石膏ボード工業会(東京都、須藤永一郎会長)が発表した平成20年の石膏ボード需給は、生産量が前年比8.6%減の5億2011万8000平方尺、出荷量が8.5%減の5億1761万8000平方尺と、ともに大幅な減少となった。前年割れは2年連続。19年の出荷量の減少率は3.2%で、住宅着工の17.8%の落ち込みに対して、石膏ボードは8.5%減少した。一昨年からのマンション着工の減少等がタイムラグを経て、ボード需要に反映されたためと見られる。

地域別にみた出荷量の構成比率では、増加傾向にあった関東圏が20年は34.5%と前年比で0.9%減少した。「東京都心部でのマンション着工が減少したため」(林宏治工業会専務理事・北海)

21年の石膏ボードの需給は、生産量が前年同月比11.6%増の782万2000平方尺と、前年水準が15%近く減少していたことから反動増となった。出荷量は同1.4%減の791万3000平方尺と減少した。

在庫量は同0.4%増の1692万2000平方尺と微増。在庫率は2.1%だった。

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX 03-3820-3519
IP ☎050-5505-8813
読者サービス ☎03-3820-3511
FAX 03-3820-3518
IP ☎050-5505-8812
http://www.n-mokuzai.com/
Eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,000円

木建建材ウィフリー
Japan Lumber Reports

総合床工事
フローリング
新建材
マルコー(株)
御用金下さい
江東区新木場1-9-6
TEL (3521)0505
FAX (3521) 0931

主な記事

- ▽2面 会社探訪 桜井木材市場(奈良)
- ▽3面 山主と生産業者を結びつける
- ▽4〜5面 集成材商況 底感なく先行き不透
- ▽6面 国産材製品全国商況 外材の値下がり響く

材
柱など
なます
店
2301代
4030
5177代
2813
1747代
1098